

令和5年度 留萌市地方創生協議会（議事概要）

-
- 【日時】 令和5年11月10日（金） 13:30～14:10
【場所】 市役所3階 3・4号会議室
【出席者】 委員：大石委員、上坂委員、早坂委員、松永委員、野呂委員、米倉委員
欠席：伊藤委員、後藤委員、高橋委員、田中委員
市：中西市長、海野地域振興部長、真鍋政策調整課長、
山下政策調整係長、見上政策調整係主査、佐藤ふるさと納税係長

【主な内容】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 留萌市人口ビジョンの検証について [資料1]
 - (2) 第2期留萌市総合戦略 基本目標・KPIの検証について [資料2]
 - (3) 企業版ふるさと納税の取り組みについて [資料3]
- 5 意見交換
- 6 その他
- 7 閉会

【市長あいさつ】

人口ビジョンを策定しているが、人口をどう維持していくかが求められている。国が進める地方創生について、市としても状況に応じて様々な取組を行っていきたいと考えているため、ご質問等があればご発言いただきたい。

【留萌市人口ビジョンの検証について】

- ・資料1に基づき、人口ビジョン及び自然減・社会減、人口移動等について説明

【第2期留萌市総合戦略 基本目標・KPIの検証について】

- ・資料2に基づき、第2期留萌市総合戦略の評価と各戦略の概要及び検証について説明

【企業版ふるさと納税の取り組みについて】

- ・資料3に基づき、企業版ふるさと納税の事業経過、受入実績等について説明
-

【議事】

◇市長

それでは、只今の市からの説明に対し、ご質問等があればお受けしたい。

○委員 — 質問なし —

【意見交換】

◇市長

意見交換に移るが、市が現在進める施策について、事務局から説明願いたい。

・地域振興部長

年間 500 人程の人口減少で推移しており、人口の減少カーブを緩やかにするため、市では、5つの拠点づくりを進めている。

モンベルとの連携によりアウトドア観光を推進し、雇用の創出と地域の稼ぎにつなげる取組。

留萌港における石炭取扱量が減少している状況から、小麦の移出、スムーズな荷役、内陸における小麦の集約を図り、物流拠点の形成に向けた小麦の収出荷保管施設の整備。

道内5つの先行地域で検討が進められているが、三泊港の活用、利活用の推進とともに、留萌地域の良好な風況を活かした産業の創出に向け、洋上風力発電業者の誘致による風車のメンテナンス等、経済側面の推進。

学校給食センターにおいては、施設の稼働率を上げ、さらには、高齢者、幼稚園などへの配食も含めた、新たな学校給食の提供に向けた取組。

教育においては、河合塾と連携のうえ、18歳まで生まれ育った留萌の地域で、親元で生み育てることができるサポート体制づくりとして、地元留萌高校へタブレットの配布を行い、ハイブリット型教育の推進のほか、検定等受講料の助成を進めている。

◇市長

2024年におけるトラック輸送の課題。また、2027年には、砂川火力発電所が無くなるため、石炭の取扱については、転換期を迎えるところであり、どのように乗り越えていくのが課題。

また、社会減の要因にあっては、家族で転勤に来られた方に対し、転入が単身となればその影響は大きい。先ほど説明のあった5つの拠点整備を進めながら、新たな産業を興し、人口の増加、維持を図っていききたい。

石炭に係る取扱事業者にあっても、雇用を抱える中、新たな産業を興していかなければ、他へ出ていくことにも繋がるため、大変厳しい状況と受け止めている。

千歳にあっては半導体に係る「ラピダス」、苫小牧にあってはデータセンターの整備など、技術者のほか、従業員の確保等、所得倍増計画を考慮した中で、地方の厳しさは増していくことが予想されるため、北海道との連携を図りながら、施策展開を進めていききたい。

○委員

様々な施策を進める中でも、公共交通機関、医療・介護に力を入れる必要性を感じている。

交通事業者にあっては、人手不足の厳しい状況においても利用者ニーズに合っているのか。

バス利用者や高齢者からは、使い勝手が悪いとの声もあるため、行政のみならず、転勤される方というよりは、留萌に元々住んでいる方も離れていくことに繋がらないか危惧している。

JRもなくなった中で、バスの不便さへの支援が必要と感じている。

市立病院にあっても、医療体制がしっかりしていないため、離れている状況もある。

入込数など、インバウンドの増加はうれしいが、やはりホテルに宿泊できる部屋数が足りていない。工事関係の利用にあっては、隣町に宿泊し、現場に通っているとの声も聞こえている。

また、地場の産業としては、2027に火力発電所の廃止となり、石炭に関して港の利用が見込むことができないが、地元としては、やはり水産加工業をしっかりと守っていかなければいけないと感じている。

少しでも人口減をなだらかにするため、厳しい時代にあった施策展開が必要であり、近隣との連携を行うことも重要と感じている。

◇市長

交通事業者にあっては、人手不足で回り切れない状況もあるが、見晴通の完成により、路線の見直しを含めた検討を行うとともに、自衛隊においては、退官前に2種免許の資格を取得いただくことも検討している。

宿泊にあっては、ホテルの稼働が高い一方で、旅館業では落ち込みも認められる。

医療体制については、厳しい状況もあるが、市としては2次医療機関として、管内との連携を図りながら、体制づくりを進めていきたい。

総合戦略を計画的かつ効果的に進めていくために、また、総合計画の更新も数年後に予定しているが、中身のあるものを策定していくために、皆様の経験や知恵をお借りできればと思っている。後日、気がついたことがあれば、担当を通じてお話いただきたい。

本日は、貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。

以上をもちまして、令和5年度の地方創生協議会を終了させていただきます。